



平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 24 年 10 月 31 日

上場会社名 東芝機械株式会社

コード番号 6104

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 飯村 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 高木 慎司

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 11 月 13 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

URL <http://www.toshiba-machine.co.jp>

(TEL) 055(926)5141

配当支払開始予定日 平成 24 年 12 月 4 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	62,950	9.3	5,543	51.3	6,227	58.5	4,240	28.1
24 年 3 月期第 2 四半期	57,611	33.7	3,664	130.8	3,929	231.9	3,310	401.5

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 2 四半期 3,993 百万円 (25.8%) 24 年 3 月期第 2 四半期 3,173 百万円 (-%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 2 四半期	27.89	—
24 年 3 月期第 2 四半期	21.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	140,904	74,608	53.0
24 年 3 月期	142,297	71,101	50.0

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 2 四半期 74,608 百万円 24 年 3 月期 71,101 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	4.00	—	5.00	9.00
25 年 3 月期	—	4.50	—	—	—
25 年 3 月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	△2.1	8,000	7.9	9,000	0.6	5,800	△13.7	38.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (平成 24 年 10 月 31 日) 公表いたしました「平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名 — ）、除外 — 社（社名 — ）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第 10 条の 5 に該当するものであります。詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25 年 3 月期 2Q	166,885,530 株	24 年 3 月期	166,885,530 株
② 期末自己株式数	25 年 3 月期 2Q	14,853,307 株	24 年 3 月期	14,852,644 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25 年 3 月期 2Q	152,032,641 株	24 年 3 月期 2Q	152,034,157 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①平成25年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経済情勢は、海外市場は東南アジア等の新興国および北米は堅調に推移したものの、欧州の財政・金融問題に端を発する景気低迷や、中国の経済成長鈍化の影響を受け、全体的には厳しい環境で推移しました。一方、国内市場は低迷基調のなか、一部には東日本大震災の復興需要が見られたものの、輸出産業が世界経済の減速や長期化する円高の打撃を受ける等、一進一退の状況で推移しました。機械業界におきましても、アジアをはじめとする新興国や北米の需要はありましたが、世界経済減速の影響を受け、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済環境のもとで、当社グループは3年目となる中期経営計画「TM AC Plan III」

(Toshiba Machine Adapt to the Change Plan III) を平成24年4月1日からスタートさせ、前連結会計年度に続き「先進と拡張」を基本コンセプトとして諸施策を実行し、国内外市場向けの新商品開発、市場の開拓、受注の確保、財務体質の改善等に全力をあげ、グローバルなブランド力の創出に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、世界経済減速の影響を受け、587億6千5百万円（前年同期比1.4%減）となりましたが、売上高は、前連結会計年度における東南アジア等新興国や北米の堅調な需要を受け、629億5千万円（前年同期比9.3%増）となりました。

損益につきましては、中大型射出成形機と大型工作機械の原価低減をはじめとした利益率の改善および経営全般にわたる合理化の結果、営業利益は、55億4千3百万円（前年同期比51.3%増）、経常利益は、62億2千7百万円（前年同期比58.5%増）、四半期純利益は、42億4千万円（前年同期比28.1%増）となりました。

②セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機は、中国、東南アジア等の新興国および北米の自動車、家電関連業界向けを中心とした需要が続きました。ダイカストマシンは、中国、東南アジア等の新興国および北米の二輪、自動車関連業界向けに需要が続きました。押出成形機は、国内外の二次電池や光学関連業界向けの需要があるものの、経済の先行き不透明な状況下、シート・フィルム製造装置の売上が低迷しました。

この結果、成形機事業全体の売上高は、392億6千6百万円（前年同期比25.1%増）、営業利益は中大型射出成形機の利益率改善等が貢献し、40億9千7百万円（前年同期比106.5%増）となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械は、東南アジア等の新興国および北米のエネルギー・重電、建設機械、産業機械関連業界向けを中心とした需要が続きましたが、国内および中国の需要が減少しました。精密加工機は、中国の景気減速の影響に加え、国内デジタル家電メーカーの業績悪化に伴う設備投資の抑制により、需要が低迷しました。

この結果、工作機械事業全体の売上高は、130億9千2百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は大型工作機械の利益率改善等が貢献し、11億7千9百万円（前年同期比65.0%増）となりました。

油圧機器事業

油圧機器は、主な供給先である建設機械の需要が、国内では東日本大震災による復興需要で発生しましたが、海外は中国の経済成長率鈍化による激減に加え、東南アジアや北米においても減少しました。

この結果、油圧機器事業の売上高は、58億9千4百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は、3千3百万円（前年同期比95.0%減）となりました。

その他の事業（電子制御装置など）

電子制御装置は、国内外の工作機械、産業機械関連業界の需要がありましたが、中国向けの需要の低迷が続きました。

この結果、その他の事業全体の売上高は、61億8百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は、5百万円（前年同期比96.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ13億9千3百万円減少し、1,409億4百万円となりました。減少の主な内訳は、投資有価証券が37億3千4百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が52億7百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ49億1百万円減少し、662億9千5百万円となりました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が36億円、未払法人税等が8億2千1百万円それぞれ減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ35億7百万円増加し、746億8百万円となりました。増加の主な内訳は、利益剰余金が39億3千1百万円増加したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は53.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ23億3千3百万円増加し365億2千2百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は66億9千4百万円の増加になりました。これは主として、仕入債務の減少36億4千万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益62億2千万円、売上債権の減少35億1千5百万円等の増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は42億3千4百万円の減少になりました。これは主として、関係会社株式の取得による支出34億6千1百万円等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は13億5百万円の減少になりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が3億5千万円、配当金の支払額7億6千万円等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、平成24年4月27日公表の予想を修正しました。詳細は、平成24年10月31日に公表いたしました「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,689	21,022
受取手形及び売掛金	45,730	40,523
有価証券	13,500	15,500
商品及び製品	5,007	5,788
仕掛品	21,287	19,591
原材料及び貯蔵品	80	68
繰延税金資産	3,158	3,010
その他	1,895	1,552
貸倒引当金	△173	△164
流動資産合計	111,174	106,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,247	34,302
減価償却累計額及び減損損失累計額	△23,429	△23,774
建物及び構築物（純額）	10,818	10,528
機械装置及び運搬具	30,219	29,938
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,838	△26,765
機械装置及び運搬具（純額）	3,381	3,173
土地	6,203	6,203
リース資産	139	158
減価償却累計額及び減損損失累計額	△76	△92
リース資産（純額）	63	66
建設仮勘定	188	11
その他	6,894	7,190
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,429	△6,642
その他（純額）	465	547
有形固定資産合計	21,120	20,530
無形固定資産		
その他	434	424
無形固定資産合計	434	424
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	12,157
長期貸付金	84	89
繰延税金資産	446	233
その他	661	673
貸倒引当金	△47	△98
投資その他の資産合計	9,567	13,055
固定資産合計	31,123	34,010
資産合計	142,297	140,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,675	27,075
短期借入金	12,110	17,707
未払法人税等	2,616	1,795
未払費用	5,562	5,327
製品保証引当金	350	405
その他	5,040	4,992
流動負債合計	56,355	57,303
固定負債		
長期借入金	6,100	—
長期未払金	42	14
繰延税金負債	324	397
退職給付引当金	8,237	8,445
役員退職慰労引当金	50	45
資産除去債務	50	51
その他	35	36
固定負債合計	14,841	8,991
負債合計	71,196	66,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	19,600	19,600
利益剰余金	49,408	53,339
自己株式	△10,039	△10,039
株主資本合計	71,454	75,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,530	1,110
繰延ヘッジ損益	△12	—
為替換算調整勘定	△1,871	△1,887
その他の包括利益累計額合計	△353	△776
純資産合計	71,101	74,608
負債純資産合計	142,297	140,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	57,611	62,950
売上原価	42,477	44,954
売上総利益	15,133	17,995
販売費及び一般管理費	11,468	12,452
営業利益	3,664	5,543
営業外収益		
受取利息	22	32
受取配当金	130	70
受取賃貸料	88	89
持分法による投資利益	714	1,118
その他	124	94
営業外収益合計	1,080	1,404
営業外費用		
支払利息	102	113
手形売却損	2	—
為替差損	296	140
退職給付会計基準変更時差異の処理額	231	231
その他	182	235
営業外費用合計	815	720
経常利益	3,929	6,227
特別利益		
固定資産売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産処分損	3	2
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	3	9
税金等調整前四半期純利益	3,927	6,220
法人税、住民税及び事業税	1,199	1,301
法人税等調整額	△583	679
法人税等合計	616	1,980
少数株主損益調整前四半期純利益	3,310	4,240
四半期純利益	3,310	4,240

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,310	4,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	△419
繰延ヘッジ損益	△1	12
為替換算調整勘定	26	159
その他の包括利益合計	△137	△247
四半期包括利益	3,173	3,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,173	3,993
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,927	6,220
減価償却費	1,098	993
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△105	42
製品保証引当金の増減額(△は減少)	90	55
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△267	190
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14	△4
受取利息及び受取配当金	△152	△103
支払利息	102	113
手形売却損	2	—
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	1	△0
持分法による投資損益(△は益)	△714	△1,118
売上債権の増減額(△は増加)	△1,970	3,515
たな卸資産の増減額(△は増加)	825	2,096
仕入債務の増減額(△は減少)	△178	△3,640
前受金の増減額(△は減少)	△1,122	221
未払費用の増減額(△は減少)	144	△177
預り金の増減額(△は減少)	△0	△81
未払金の増減額(△は減少)	585	△10
長期未払金の増減額(△は減少)	△56	△27
その他	219	354
小計	2,414	8,638
利息及び配当金の受取額	178	307
利息の支払額	△103	△113
手形売却に伴う支払額	△2	—
法人税等の支払額	△480	△2,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,006	6,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△481	△739
有形固定資産の売却による収入	33	3
無形固定資産の取得による支出	△29	△33
関係会社株式の取得による支出	△27	△3,461
関係会社出資金の払込による支出	△24	—
短期貸付けによる支出	△0	△0
短期貸付金の回収による収入	1	1
長期貸付けによる支出	—	△13
長期貸付金の回収による収入	10	8
その他	16	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502	△4,234

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	503	△178
長期借入金の返済による支出	△350	△350
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△456	△760
その他	△12	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314	△1,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,210	1,315
現金及び現金同等物の期首残高	36,013	34,189
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,223	36,522

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,377	14,199	6,652	52,230	5,380	57,611	—	57,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50	93	144	1,184	1,328	(1,328)	—
計	31,377	14,249	6,746	52,374	6,565	58,940	(1,328)	57,611
セグメント利益	1,983	714	666	3,364	157	3,522	142	3,664

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	成形機	工作機械	油圧機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,266	13,058	5,848	58,173	4,776	62,950	—	62,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33	46	80	1,331	1,411	(1,411)	—
計	39,266	13,092	5,894	58,253	6,108	64,362	(1,411)	62,950
セグメント利益	4,097	1,179	33	5,309	5	5,314	228	5,543

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。